

豊田通商インディアと CleanMax、インドにおける日系企業向け

再生可能エネルギーソリューションの提供で協業

～持続可能なクリーンエネルギーを通じて脱炭素社会への移行を推進～

このたび、豊田通商グループの Toyota Tsusho India Private Limited（豊田通商インディア）は Clean Max Enviro Energy Solutions Private Limited (CleanMax)との長期的なパートナーシップに合意しました。

CleanMax（株主：ブルックフィールド）は、インドにおける商業および産業（C&I）セクターの需要家向け再生可能エネルギーを供給するリーディング発電事業者です。

このパートナーシップを通じて、両社の事業のシナジーを発揮し、2028年3月までに300MWの再生可能エネルギープロジェクトを開発・運営することを目指します。

今後設立する新会社を共同運営し、日系企業等向けに長期的な再生可能エネルギーの供給を行います。具体的には、屋根上太陽光、地上設置型太陽光、風力、ハイブリッド（太陽・風力混合）、カーボンクレジットを含む包括的なソリューションを各社のニーズに応じて提供し、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

CleanMax 創設者兼マネージングディレクター、クルディープ ジャイン氏のコメント
豊田通商インディアとのパートナーシップは、私たちにとって非常に重要なマイルストーンです。トヨタグループをはじめとする日系企業がネットゼロ目標を達成するためのサポートができることを嬉しく思います。この提携は、当社のグローバル戦略を強化するとともに、成長目標を達成するための資本効率の向上を実現します。

豊田通商インディア 社長、八廣 展明のコメント

業界リーダーである CleanMax と共に、インド市場で競争力のある再生可能エネルギーを企業の皆様に提供できることを大変嬉しく思います。豊田通商グループの再生可能エネルギー事業は、1980 年代からの長い歴史と豊富な知見を持っています。今回の提携を通じてインドにおける再生可能エネルギー事業を加速し、カーボンニュートラルの実現に向けてこれからも挑戦し続けます。



【CleanMax について】

インド、中東、東南アジアにおいて合計 2.2GW の発電所を保有しています。現在、太陽光、風力、風力・太陽光のハイブリッド発電、環境証書等のさまざまなソリューションを 500 社以上（業種：データセンター、繊維、自動車、化学、日用品、製薬、製造業など）に提供しており、ネットゼロソリューションプロバイダーとして高い信頼を得ています。

【豊田通商インドシアについて】

インドにおける事業は、メタル、サプライチェーン、モビリティ、ライフスタイル、サーキュラーエコノミー、デジタルソリューション、グリーンインフラの七つの分野にわたっています。再生可能エネルギーとエネルギーマネジメントは、豊田通商グループの成長戦略において重点領域の1つです。これまでにアメリカ、EMEA、APACで再生可能エネルギー事業を展開し、総発電容量は4GWを超えています。グループの使命である未来の子供たちにより良い地球を引き継ぐために、インドおよび世界で再生可能エネルギーの導入と拡大を加速する取り組みにコミットしています。